



ご存じですか？「かかりつけ医」

適用給付担当

044(520)7825

Knp-kyufu-QA@ml.toshiba.co.jp

日本医師会では「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」を「かかりつけ医」と呼んでいます。またはそのような定義づけをしなくても、小さい頃からお世話になっている町のお医者さん、という形ですでに「かかりつけ医」をお持ちの方もいるかもしれません。現在、国が主体となって「かかりつけ医」を持つことを推奨しています。いったいなぜでしょうか？



医療の役割分担

小さな診療所と大学病院などの大きな病院では、その役割が異なります。大きな病院は、高度な専門的医療や、重篤な患者の救急医療に対応することが求められています。そこへ比較的軽症な患者も集中してしまうと、適切な医療を提供することができないという事態を招きかねません。

この医療機能の役割分担を進めるために、紹介状なしで200床以上の大病院を受診すると、診察料の他に緊急時を除き特別料金を上乗せする仕組みが導入されています。例えば、大学病院の初診では5,000円(歯科の場合は3,000円)以上、再診では2,500円(歯科の場合は1,500円)以上の特別料金がかかります。

診療所や 200床未満の病院	初診料 860円 (健康保険適用3割)	高度な医療を提供する 病院などの場合、 5,000円以上！	
200床以上の病院に 紹介状なしでかかった場合	初診料 860円 (健康保険適用3割)		
特別料金＜全額自己負担＞			

かかりつけ医を持つことのメリット

医療体制のためだけではなく、「かかりつけ医」を持つことは、私たちの健康管理にも直結します。

- 同じ医師に継続して診てもらうことで、病歴、体質、生活習慣などに基づいた治療やアドバイスを受けることができます。日頃の状態を理解している「かかりつけ医」であれば、ちょっとした体調の変化にも気づきやすく、病気の予防や早期発見・早期治療につながります。
- 専門的な検査や治療が必要となった場合にも、症状に適した専門医療機関を紹介してもらえます。紹介状は、症状や経過など治療に必要な情報を添えて書かれますので、紹介先の医療機関でスムーズに治療を開始することができます。自己判断で受診先を探すよりも、信頼できる「かかりつけ医」に相談してみましょ。

かかりつけ医の探し方・選ぶポイント

地域の口コミや評判、地域医師会のホームページなどで情報を収集しましょう。内科が一般的ですが、子どもは小児科、女性は婦人科など、気になる症状を何でも相談できるお医者さんを身近に見つけておきましょう。

- ♪ 自宅や勤務先の近くなど通いやすい
- ♪ 何でも話せて信頼できる
- ♪ コミュニケーションがとりやすい
- ♪ 病気や治療法、薬についてわかりやすく説明してくれる



国の医療を円滑に回すため、
そしてあなた自身の健康のために、
ぜひかかりつけ医を持ちましょう！